

# 平和行進活動交流ニュース

発行：原水爆禁止国民平和行進中央実行委員会事務局団体・日本原水協  
電話：03-5842-6035 FAX：03-5842-6033 Eメール：antiatom55@hotmail.com

2019年  
5月13日  
発行

## 核兵器全面禁止・廃絶の声を広島・長崎・世界へ届けよう

2019年国民平和行進西多摩実行委員会は5月11日、福生市民会館で「核兵器のない世界へみんなで歩こう-2019年平和行進西多摩・学習のつどい」を行い、70人が参加しました。学生の柴田菜央さんのスピーチを紹介します。



私は、昨年の夏、初めて平和行進に参加しました。私は、この平和行進を通して、平和を望んでいる人は自分に見えている人だけではなく、日本中、世界中にいるのだということを強く感じさせられました。

私は、普段、政治や社会制度、あるいは教育の問題について考えるとき、いくら一人で嘆いていても、その仕組みを変えることはなかなか難しいと感じます。そうしたときに、この平和行進は、とても大きな展望を私に与えてくれました。

平和行進に行くと、平和を訴える人がこんなにたくさんいるのだということに驚かされます。行進に参加することで、平和な世界を目指す仲間に出会うことができます。一人で何かに立ち向かうには、ものすごく大きな労力が必要です。しかし、仲間がいれば、めげそうになったときにも、もがきながらも活動を続けているのは自分一人ではないのだとわかり、励まされ、力がわいてきます。「仲間が見える」、そういう意味で、平和行進に参加することは明日に希望を持たせてくれると思います。

私は、昨年の秋、安倍政権によって改憲が発議されようとしている危機感にせまられ、大学で友だちと一緒に9条の会を立ち上げました。その活動の中で学生と話をする、9条改憲について「自分の生活とはあまり関わりがないから、関心を持たない」という意見がありました。しかし、私は、そうやって今の生活にそれなりに満足し、社会の動きから遠ざかっていると、いつの間にか戦争することになっていくということになりかねないと思います。平和とは、待っていればそのうち訪れるのではなく、自分たちで追い求め、維持していくべきものです。平和行進は、「平和を積極的に求めていく」というあり方を私たちに示し続けていると思います。

平和行進をしていると、行進に参加していても行進している私たちに手を振ってくれたり、ごろうさまと声をかけてくれたりする人々に出会います。平和行進は、行進している人々が平和への思いを訴える場であると同時に、行進を目にする人々が、改めて改憲は嫌だ、戦争は嫌だ、という思いを持つ機会でもあります。私は、平和行進は、人々のあいだに「平和の輪」を広げるものだと思います。

私が今後の平和行進でさらに進めていくべきだと思うことは、若い人々にもっと参加してもらうことです。平和行進は「ピースパレード」ですから、誰もが参加したいと思えるような、楽しいものであるべきです。シュプレヒコールを誰もが馴染みやすいものに工夫したり、リズムカルなものにしたり、そういったことをできれば、さらに大きな平和行進が各地で見られるのではないかと思います。

最後に、平和な世界をつくるには、対話が必要です。対話には、時間がかかるし、忍耐も必要です。それでも、もし対話ができない世の中であれば、それは、人々が目先の利益しか考えられない、生きづらい世の中です。そう考えたとき、平和行進は、科学が発達した今の時代に「歩く」という行為を通して、時間をかけて平和な世界に向かって進んでいく地道な活動です。私は、この行進が続く限り、対話の力も失われず、世界の上を暗雲が覆うことはないと思っています。大好きな平和行進がこれからもずっと続いていくよう、たくさんの人々と一歩でも二歩でも一緒に歩いていきたいです。